

令和6年度第5回鳳来南部地域協議会 会議録

日 時	令和6年8月22日(木) 午後7時30分～午後8時30分
場 所	山吉田ふれあいセンター 2階会議室
出 席 者	委 員 17名、事務局 4名
傍聴人数	1名
次 第	1 あいさつ 小林会長あいさつ 2 議 事 (1) 鳳来南部地域協議会分科会及び推進部会の設置について (2) 令和7年度地域自治区予算について 3 その他 (1) 地域意見交換会について (2) 今後の予定 4 閉会のあいさつ 凤来自治振興事務所長
会議内容	
1 あいさつ	小林会長あいさつ 議事に先立ち、議事録署名人として9番の生田正彦委員と10番の松山純一郎委員を指名した。
2 議事	(1) 鳳来南部地域協議会分科会及び推進部会の設置について 資料に沿って説明。
【質疑応答】	(委員) 分科会及び推進部会の設置で会議の回数は増減するのか。 (事務局) 全体的な回数は減少する見込み。基本的には負担が減るように進めたい。 (委員) 年間スケジュール予定(案)にある検討部会とは何のことか。 (事務局) 推進部会の記載間違い。 (委員) 推進部会の委員構成は協議会OBを想定しているのか。 (事務局) 今後の協議によるが、副区長と協議会OB数名を想定している。年会で5回程度の開催を想定している。 (委員) まちづくり会議もあるため、両方を兼ねて会議回数が減ればいいと思う。 (委員) 別々の開催なので負担は増えそう。 (委員) 負担が増えないようにして欲しい。 (委員) まちづくり会議サポートメンバーとはどのような人になるのか。 (事務局) まちづくり会議の経験者で推進部会を手伝ってくれる人のこと。OBを想定している。 (委員) 地域活動交付金の審査資料を事前に確認できる立場になるのか。 (事務局) 交付金分科会で確認できるようになる。 (委員) 地区推薦委員と団体推薦委員とはなにか。 (事務局) 現在の協議会でも推薦委員はおり、あくまでも案の段階のため想定として示している。 (委員) 例えば来年の区長はどこに構成になるのか。 (事務局) 予算分科会になる。
賛成多数で来年度から分科会及び推進部会の設置することに可決。	

(2) 令和7年度地域自治区予算について

資料に沿って説明。

【質疑応答】

(委員) 7三河三石管理運営事業の発電機はガソリンを使用するものか。

(事務局) そうです。

(委員) ガソリン携行缶も必要になってくる。

(会長) ガソリンがなくなることを想定して太陽光発電はどうか。

(事務局) 発電能力から家庭用ならいいが、道の駅には向いていないと思う。

(委員) 三河三石は昨年6月の大雨で冠水していたため、大雨の際は発電機は役に立たないのではないか。

(事務局) 主に地震や断線の際を想定している。

(委員) 冠水を想定して発電機は高い場所へしないといけない。

(委員) 発電機については、冠水が引いた後の使用を想定しているので問題ないかと思う。

(委員) 5地域集会施設整備支援事業について、下吉田公民館の配線も心配である。

(委員) 配線の心配もあるが、まずは最低限の雨漏り対策が出来ればと思う。

(委員) 自治区予算に残額もあり、整備してから3年以内は整備出来ない縛りがあるため、屋根の塗装と一緒に配線も直したらどうか。

(委員) 下吉田公民館の配線はいつ断線してもおかしくない。

(委員) すべて一緒に整備すると高額になる。

(委員) 建物自体も古く使用率などを加味してどこまで整備するのか判断したい。

(委員) 今から配線の修繕を追加して検討してもいいのか。

(事務局) 上乗せ補助のため、市民自治推進課の予算と調整しなければならない。

(委員) 予算決定まで時間がないため早急に確認してほしい。

賛成全員で全事業を採択することに可決。

3. その他

(1) 地域意見交換会について

前回質問のあった地域意見交換会の開催方式変更について、建設的な議論をしてくれている地域協議会委員と議論をしたい、市民との議論についてはふれあいトークと棲み分けをしたいという考えを事務局から説明。

【質疑応答】

(委員) ふれあいトークはどれくらいの頻度で開催しているのか。

(事務局) 定例で新城、鳳来、作手の各2回。要望があれば都度開催している。

(2) 今後の予定

前回決定のため、次第記載事項の確認。

鈴木事務所長のあいさつ後、閉会。